※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共　新訂版」　（東京法令出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学年でファイルの購入があるため、プリント・ワークシートでの授業を推奨。
・日本や世界で生じている諸問題に興味・関心をもてるようになってほしい。
・常に「なぜ？」と疑問を持つことを大事にし、思考する力を身につけてほしい。
・生徒たちの身近な事象・物事を題材にすることが好ましいと思われる。
・模擬選挙や裁判員制度による模擬裁判などの疑似活動を行うのが好ましいと思われる。

2　学習の到達目標

・人間と社会の在り方について理解を踏まえ、社会の形成者としての自覚を身に付ける。
・現代の諸問題について考察し、それらを解決するために、思考し、あらゆる選択肢から判断し、それらを表現する力を養う。
・グローバル社会での諸課題の解決に向けて主体的に取り組み、他者と協働・議論する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸課題について理解を深め、その解決の手掛かりとなる概念や理論について理解を深めている。 ・現代の諸課題に関する統計や地図などの各種資料を読み解くことができ、その解決に向けての手段として活用している。	・現代の諸課題の解決に向けて、様々な理論や概念に基づいて考察し、自らの意見を表現している。 ・様々な事象や事実に対して、多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 ・自らの意見を表現し、他者と議論しあい、考えを深めようとしている。	・現代の諸問題を身近な問題であると自覚し、主体的にその問題を解決しようとしている。 ・現代社会に生きる人間として、また公共的な空間に生きる国民主権を担う公民としての自覚をもって学習に取り組んでいる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	①公共の扉	(1)公共的な空間と私たち 日本の文化と社会・青年期・自己形成とキャリア形成・社会の多様性　等 (2)人間としてのあり方・生き方 公共的空間における人間の幸福・自由・正義・公正　等について (3)公共的空間における基本原理と日本国憲法 人間の尊厳と平等・民主政治と国民主権・公共の福祉・法の支配　等	a:公共的な空間の基本的原理について理解し、その空間での人間の在り方・生き方について理解を深めている b:公共的な空間において、自らがどのように生きるべきか、公民としてどうあるべきかを選択・判断し、考察できている c:公共的な空間について、身近な事象・物事について思考し、主体的に学習に取り組めている	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物	提出物 観察
	②日本の政治機構	(1)政治機構と政治参加 法の機能・国会の運営・内閣と行政・司法と裁判所・選挙のしくみ・政党政治・国民と政治参加　等	a:日本の政治機構や国民の政治参加、またそれらの課題について理解を深めている b:日本の政治体制の理解を深め、それらの課題に対して、解決するための方法を考察できている c:政治を他人事とせず、一人の公民として、内容の学習・課題の解決に取り組めている	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物	提出物 観察
	③日本経済のしくみ	(1)経済のしくみ 市場のしくみ・市場の失敗・景気変動と物価・財政について・金融のしくみ・銀行の役割等 (2)変化する日本経済 高度経済成長・バブル経済・日本の中小企業・日本の農業問題　等	a:経済のしくみと日本経済について理解を深めており、経済に関する指標や統計などの資料を読み解くことができる b:指標や統計を活用し、学習した内容を多面的・多角的に考察できている c:経済に関わる一人の人間として、主体的に学習に取り組み、実生活に活かそうとしている	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物	提出物 観察

※令和４年度以降入学生用

後期	④豊かな生活の実現	(1)私たちの生活 消費者主権・労働者の権利と現代の雇用労働問題・社会保障制度の役割	a:消費や雇用・労働に関する理解を深め、またそれらに関する課題について理解できている b:消費者問題・労働問題といった課題に対して、解決の方法を考察できている c:消費者問題・労働問題といった課題に対して、解決の方法を実生活と結び付けて、主体的に学習できている	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物 グループワーク・発表	 提出物 観察 グループワーク・発表
	⑤国際社会と日本	(1)国際政治のしくみ 国際主権と国際法・国際連合の役割・人種民族難民問題・核兵器の廃絶と国際平和・日本の安全保障の現状 (2)国際経済のしくみ 国際貿易と国際分業・外国為替のしくみ・国際収支・グローバル化する経済 (3)国際社会の現状と課題 南北問題・新興市場国・地球環境問題・	a:国際社会のしくみや日本と世界の関わりについて理解を深め、現代の国際問題・課題について理解できている b:現代に取り巻く国際問題・国際経済の課題の解決の方法について自らの考えを表現できている c:グローバル化する社会の中で、国際問題を身近な問題と捉え、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物	 提出物 観察
	⑥持続可能な社会に向けて	(1)課題探求 ・民主主義について ・日本の格差社会について ・科学技術の発展について ・外国人との共生について	a:持続可能な社会に向けて、現代の社会の特徴とその課題について理解を深めている。 b:持続可能な社会に向けて、現代の諸問題を多面的・多角的に考察し、表現できている。 c:現代の諸問題を身近な問題と捉え、主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 確認テスト	定期考査 提出物 グループワーク・発表	 提出物 観察 グループワーク・発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度